記者会見資料
平成２８年４月５日（火）
震災復興･企画部 震災復興･企画課
担当：菅野（内線315）

立命館アジア太平洋大学（APU）と友好交流に関する協定を締結します

～地域の持続的な発展と国際的に活躍できる人材の育成を目指して～

■本市と立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）は，友好協定を締結します。
本協定では，自治体と教育機関における連携のモデルとなるような相互の友好的な交流を推進し，地域の持続的な発展と国際的に活躍できる人材の育成を目指します。

■締結式は，以下の日程で執り行います。

日　時：平成28年４月11日（月）9:00～9:30
会　場：気仙沼市役所　応接室
出席者：ＡＰＵ　　是永（これなが） 駿（しゅん） 学長，今村（いまむら） 正治（まさはる） 副学長　他
　　気仙沼市　菅原 茂 市長，赤川 郁夫 副市長，菅沼 真澄 副市長
次　第：１　市長挨拶
　　２　学長挨拶
　　３　立命館アジア太平洋大学（APU）の大学紹介
　　４　写真撮影
　　５　記者との質疑応答

■ＡＰＵでは，これまでも大分県内全市町村（15市３町１村）及び，県外の自治体（長野県飯田市）と協定を締結し，それぞれの自治体と交流事業を進めてきました。本協定は，ＡＰＵの学生にとって，気仙沼市を舞台にしたフィールドスタディーの実施や，復興支援における取組みを学ぶ機会となり，また「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を理念とする大学として，アジア太平洋地域の諸課題解決を担う人材の育成を目指します。

■一方，「地方にある世界の港町」を将来都市像とする気仙沼市では，ＡＰＵに在籍する多彩・多国籍な学生等との交流を通じて，国際的な視野や観光面でのニーズを学習し，標榜する「産業は国際的に展開」のための施策推進や，インバウンドを含めた交流人口の拡大を目指します。

■本協定後の具体的な取組み案については，今後双方で協議を重ね，進めていく予定です。

「立命館アジア太平洋大学（APU）」概要

立命館アジア太平洋大学（APU）は，100余年の伝統と歴史をもつ「学校法人立命館」が平成12年４月に設立した日本初の本格的な国際大学です。
世界各地から集まる国際学生が学生の半数を占め，教員も約半数が外国籍という多文化・多言語のキャンパスを創造しています。また，日本語・英語の二言語教育システムを展開しており，高度な言語運用能力の獲得とともに，世界の優秀な若者への日本留学の可能性を切り開いています。
開学以来136の国・地域から集まった国際学生がＡＰＵで学んでいます。

名　　称：立命館アジア太平洋大学（ＡＰＵ）
設 置 者：学校法人立命館（大分県，別府市との公私協力による）
所 在 地：大分県別府市
設　　立：平成12年４月
構　　成：【学　部】アジア太平洋学部，国際経営学部
【大学院】アジア太平洋研究科，経営管理研究科
学 生 数：【国際学生】2,949人（84か国・地域）※2
【国内学生】3,025人　※2
計　5,974人（H28.3.31現在）
※1　学生数の確定は5月1日となり、現数値は暫定数となります。
※2　国内学生とは、在留資格が「留学」でない学生を指し、国際学生とは、在留資格が「留学」である学生を指す。

【本資料の問い合わせ先】

気仙沼市震災復興・企画課 政策・調整係　：菅野　TEL 0226-22-3408

立命館アジア太平洋大学　学長室（広報）担当：ジョーンズ，宮腰　TEL 0977-78-1114

関連する市震災復興計画重点事業
№176「大学・研究機関等との連携と誘致」